

わ

が

街

わ

が

故

郷

## 私たち『日本精工(株)大津工場』と その周辺のご紹介

### 1. 大津工場の紹介

滋賀の地の古名は近江（淡海／おうみ）。遠淡海（とおつおうみ）に対する、京に近い近淡海（ちかつおうみ）の意です。京の都の近くに位置する交通の要衝であり、琵琶湖という“水の道”に恵まれたことから、日本海や瀬戸内海～淀川経路で古くから「海人（あま）」と呼ばれる渡来人が渡り住みました。彼らは大陸から多彩な文化を伝え、その一つが当時の先進技術である「製鉄」であります。滋賀の地、それは歴史的な“鉄の先進地”でもありました。

戦後の復興も軌道に乗り始めた昭和28年。この“鉄の先進地”に新たな“鉄の技術”の種が撒かれました。それが動力を支える基幹部品・玉軸受を製造する“西日本精工”の誕生です。その後“日本精工(株)大津工場”として発展・躍進し、昨年お蔭様で記念すべく「50周年」を迎えることができました。今も、大津工場では「深溝玉軸受」を中心にその技術を活かし、いろいろな製品を製造しております。

工場は、写真でお解りかと思いますが、琵琶湖の最南端に位置し、ちょうど工場の前で琵琶湖から瀬田川（実際には川の名称が瀬田川⇒宇治川⇒淀川と変わります）が流れ出ています。琵琶湖と比叡の山並み、そして琵琶湖八景でも知られる比良山系、東側は広大な近江盆地をかかえ、春は新緑や桜並木、夏はマリンスポーツ、秋は紅葉、冬はスキーと1年を通して四季折々が感じられる風光明媚な滋賀県に位置しております。

### 琵琶湖毎日マラソンのコース

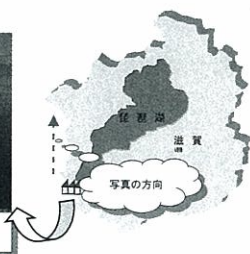
歴史ある「琵琶湖毎日マラソン」＝“オリンピック選考会”等、国内有数の選考会も兼ねた大会が毎年行われ、工場からも選手が出場しています。

市内の「皇子山陸上競技場＝琵琶湖国体開催競技場」をスタートし、工場前の道路を走り、日本三大橋である「瀬田の唐橋」西側を通り、「南郷の洗堰」で瀬田川対岸に渡ります。そしてそのまま瀬田川沿いを上り、草津市との境である「近江大橋」周辺で折り返し、来た道に戻る全長42.195kmでの熱戦です。

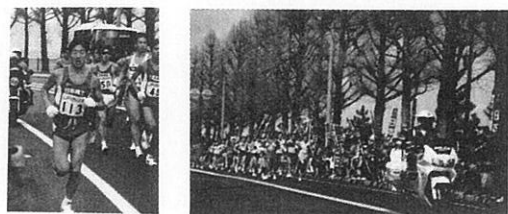
レースの日は、従業員はもとより地元選手と



日本精工(株)大津工場と琵琶湖  
前方に「大津港」と「比叡山」を望む



ということで、たくさんの方の沿道応援を受け盛大に開催され、大津工場の年中行事の一つとしての楽しみでもあります。



工場の前を通過するシーン

## 2. 滋賀県・大津市の紹介

古くは「縄文時代」に遡り、BC6500年頃、石山貝塚(大津市)、粟津(あわづ)湖底貝塚(大津市)、赤野井湾遺跡(守山市)等で見られるよう、古くから人が住んでおり、平安京(京都)にもまさる、まさに歴史ある地でもあります。

以下に代表的な歴史的人物を記載しますので、関心のある方は「是非・是非ここ滋賀県」にお越しください。歴史のロマンとの出会い、タイムスリップした体験が貴方をお待ちしております。

また、大阪湾・伊勢湾・若狭湾に挟まれ、本州のくびれに位置する滋賀県は、日本海・太平洋そして瀬戸内海からの風の通り道になっています。そのため、ちょうど滋賀県が気候のかわり目になるのです。湖南・湖東は瀬戸内型、湖西・湖北は日本海型そして鈴鹿山麓は太平洋型の気候だといわれています。ゆえに、この変化のある地形が“四季折々の美”を創り出しているのです。

### ★★歴史もの知り★★

いずれも、滋賀県に関わる有名な人物です…

《年代順》

- ①小野妹子
- ②犬上御田歟
- ③中大兄皇子
- ④最澄
- ⑤佐々木氏・京極氏・六角氏
- ⑥明智光秀
- ⑦織田信長
- ⑧羽柴秀吉(豊臣)
- ⑨石田光成
- ⑩豊臣秀次
- ⑪井伊直弼
- ⑫小堀遠州
- ⑬中江藤樹

⑭松尾芭蕉 ⑮森川許六 ⑯雨森芳洲 ⑰W.M.ブォーリス ⑱糸賀一雄 ほか、多数の有名人物との係りもあります。

一方、大津市は全国で10番目の古都に指定された人口30万人の都市で、比叡山の延暦寺、紫式部の“源氏物語”で有名な「石山寺」をはじめとした、まさに古代のロマンと近代文化が融合した魅力ある町です。

## 3. 琵琶湖の紹介

### ★★琵琶湖は動いている★★

琵琶湖は、今から400～500万年前に今の三重県(伊賀地方)にありました。そして、次第に北方に移動し、約130万年前に現在の位置に移動しました。

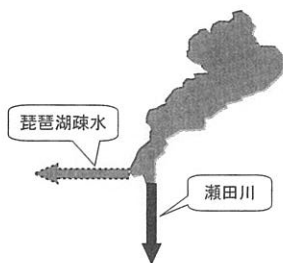
この湖は現在の琵琶湖の2倍以上の大きさがある時期もありましたが、20～30万年前の大きな地殻変動で、現在とほぼ同じ大きさになったといわれています。



琵琶湖は今でも毎年約1cmずつ北に進んでおり、やがて福井県の若狭湾に出るといわれています。

### ★★琵琶湖を守ろう★★

琵琶湖へは、大小合わせて約460本の河川が流れ込んでいますが、流れ出るのは唯一「瀬田川」と、京都に送っている「琵琶湖疎水」の2本のみです。したがって、琵琶湖の水がすべて入れ替わるには約19年かかるといわれています。



一方、琵琶湖には7つの恵みがあり、行政はもとより地域住民も一体となった各種“環境取組み”が盛んに行われています。

#### 《7つの恵み》

①近畿1400万人の水資源 ②下流淀川の流域を安定させる自然調整池 ③我が国有数の淡水魚漁の場 ④世界的にも注目される学術研究の場 ⑤観光・レクリエーションの場 ⑥豊かな生態系を有する自然の宝庫 ⑦人々に潤いと安らぎを与える心の支え

この7つの恵みを守るために、滋賀県が取り組んでおり、また私たち日本精工(株)大津工場の従業員ももちろん取り組んでいます。



月1回の工場周辺の琵琶湖岸清掃活動  
(担当職場は輪番制で、全職場対象)



県下一斉に行われる  
「琵琶湖クリーンキャンペーン」への参加

## 4. 大津のグルメ

### ★★美味・珍味

ここ大津のあじをおためし下さい★★

さていよいよ、皆様お待ちかね！グルメの紹介をいたします。

すでに四季折々の気候と、豊かな水“琵琶湖”、さらに山々から育まれた豊かな大地で育った美味しいお味はいかが？

#### ①(瀬田)しじみご飯

瀬田川では古くから石山貝塚に見られるようにシジミがありました。今では「瀬田シジミ」は激減しましたが、本場シジミご飯はいかがでしょう。

#### ②近江牛

滋賀県といえば、やはり「近江牛」。ジューシーなお味はいかが。

#### ③鮎料理

琵琶湖、といえば「鮎」料理。いろいろなお味をお試ください。

#### ④ゆば懐石

ゆばを使った精進料理もあります。健康的なメニューです。

#### ⑤鴨料理

これからが鍋の季節。天然鴨をつかったすき焼き、鍋のコースはいかが。

#### ⑥鉄鉢料理

比叡山延暦寺の鉢に使う鉄鉢が名称の由来で、高級な精進料理です。

“湖国料理”など、ほかにもお勧めのグルメはたくさんありますが、ネット検索で滋賀県および大津市にアクセスしてみてもいいでしょう。

(日本精工株式会社 大津工場 川嶋 厚)